Panasonic

取扱説明書

タブレット端末

品番 JT-H580VTRGJ
JT-H580VTRAJ

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●**ご使用前に「安全上のご注意」(3 ～ 10 ページ) を必ずお読みください。**

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

● メモリーカードとは、microSDメモリーカードおよびmicroSDHCメモリーカードを示しています。
以降、microSDメモリーカードおよびmicroSDHCメモリーカードは「メモリーカード」と表記します。

はじめに

本書は、タブレット端末の基本的な取り扱い方法について説明しています。
ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いします。

機種ごとの内蔵オプションの有/無

品番	JT-H580VTRGJ	JT-H580VTRAJ
3G対応	○	×

3G対応：3G回線を使って通信することができます。
詳しくは、28～31ページの「仕様」をご覧ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ タブレット端末について

⚠危険

禁止

本機は充電式電池を使用しています
- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

専用のACアダプター（JT-H300AD-1＊）を使用してください

発熱・発火・破裂の原因になります。

（「＊」部分の数字または記号は、生産時期によって異なります。）

⚠警告

禁止

異物を入れない

ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

歩行中や自動車・自転車などの運転中に操作をしない

転倒や交通事故などの原因になります。

分解禁止

分解しない、改造しない

ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

メモリーカードおよびトレイ引き出し治具は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

禁止

医療機器に近づけない（手術室、集中治療室、CCU※等には持ち込まない）

本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

禁止

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所でヘッドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

禁止

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

■ タブレット端末について（つづき）

⚠警告

禁止

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しない

目に悪影響を及ぼす原因になります。

禁止

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になることがあります。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電池パックを外す
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠注意

水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしない

発煙や発火の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない

落下によるけがや事故の原因になります。

禁止

LEDライトをのぞき込んだり、人の目に向けたりしない

白色光を長時間直視すると目に傷害を起こす原因になります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

●音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ 電池パック（JT-H580BT-00）について

⚠危険

禁止

指定機器専用の充電式電池です 指定機器以外に使用しない

発熱・発火・破裂の原因になります。

禁止

火への投入、加熱をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

禁止

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

■ 電池パック（JT-H580BT-00）について（つづき）

⚠危険

禁止

（+）と（−）を金属などで接触させない
ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
発熱・発火・破裂の原因になります。

禁止

火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
発熱・発火・破裂の原因になります。

禁止

電池パックからもれた電解液には触れない
液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

禁止

電子レンジやオーブンなどで加熱しない
発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

禁止

電池パックが液もれ、異臭を発するなどする場合は火気に近づけない
発煙や発火の原因になります。

水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしない
発煙や発火の原因になります。

■ ACアダプター（JT-H300AD-1＊）について

（「＊」部分の数字または記号は、生産時期によって異なります。）

⚠警告

禁止

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源コードには手を触れない
感電の原因になります。

禁止

指定の機器専用のACアダプターです
指定機器以外に使用しない
誤動作・故障の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

■ ACアダプター（JT-H300AD-1＊）について（つづき）

（「＊」部分の数字または記号は、生産時期によって異なります。）

⚠警告

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

異常・故障時には直ちに使用を中止する
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

⚠注意

水ぬれ禁止

水をかけたり、ぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解・改造をしない

ショートによる火災や、感電の原因になります。

電源プラグを抜く

お手入れの際や長時間使わないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

火災・感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

電源コードが破損すると、感電・ショート・火災の原因になります。

1. 使用上のお願いとお手入れ

本機を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

■使用上のお願い

- 湿度の高い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。
- 夏季の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、暖房機器付近には放置しないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- 強い磁気を帯びた場所には置かないでください。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところ）やテレビ、ラジオなどの受信機の近くには置かないでください。
- 専用の電池パック（JT-H580BT-00）を使用してください。
- 電源端子の部分に、ほこりや油などを付着させないでください。
また、傷をつけないでください。
- 付属の電源コードは、AC100 V用ですので、必ずAC100 Vのコンセントに接続してください。
- 寒い場所から暖かい場所へ移動すると、結露をすることがあります。
万一、結露をした場合は、付着した水滴が蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 液晶タッチパネル面を付属のスタイラスペン以外の先のとがったものや硬いもので押したり、傷つけたりしないでください。
- スタイラスペンの操作は、ペン先が曲がらない程度の軽い力で操作してください。
- 防塵・防噴流性能を満たすために、USB端子、メモリーカード挿入部、miniUIMカード挿入部のカバーを必ず閉じてください。
- メモリーカードの使用において、すべてのメモリーカードで動作保証をするものではありません。

■落下衝撃、傷つきについて

- 本機は、製品内部のメモリや液晶への衝撃が小さく抑えられるよう設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。
取り扱いには十分注意してください。

1. 使用上のお願いとお手入れ（つづき）

■電池パックについて

- 電池パックは消耗品です。電池の寿命は使用状態によって異なりますが、目安として使用開始約 1 年または充電回数が約 300 回を超えると、充電する力が弱くなります。満充電後、短時間で消耗するようになったら、新しい電池パックと交換してください。
- 電池パックの充電時間は、使用環境により異なります。
- 必ず指定の電池パックをお使いください。
- 電池パックの接点部には、触れないでください。接触不良の原因になります。
- 充電終了後、電源がOFFの状態でも長時間放置していると、電池残量が低下します。
- 電池パックは周囲温度 10 ℃～ 35 ℃の範囲で充電してください。
- 電池パックは周囲温度 –20 ℃～ 20 ℃の範囲で保存してください。範囲外での保存は電池パックの性能や寿命を低下させます。
- 電池パックはお使いになる前に充電してからご使用ください。
- 電池パックの端子が汚れたら乾いた柔らかい布でふき、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪くなり電源が切れる、充電できなくなるなどの原因になります。
- 電池パックの端子に異物をつめると取れなくなり、機器の破損および故障の原因になります。
- 電池パックに発熱、変形、異臭などの異常を発見したときは使用しないでください。
- 規定の充電時間が過ぎても充電が終了しない場合は、機器から取り外してください。電池パックの保護装置がこわれているおそれがあります。
- 本電池パックは、充電式リチウムイオン電池です。

このマークはリチウムイオン電池の
リサイクルマークです。

- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
  使用済み充電式電池の届け先
  最寄りのリサイクル協力店へ
  詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  　ホームページ　http://www.jbrc.net/hp
- 使用済み充電式電池の取り扱いについて
  ・端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
  ・分解しないでください。

■無線 LAN/Bluetooth® 使用上のお願い

- **使用周波数帯**
  本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機器の無線 LAN 機能（2.4 GHz 帯）が使用する周波数帯

本機器の Bluetooth 機能が使用する周波数帯

無線 LAN/Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック システムお客様ご相談センター

● **5 GHz帯無線LAN機能について**
5 GHz帯無線LANは、IEEE802.11a（W52/W53/W56）およびIEEE802.11n（W52/W53/W56）準拠です。W52/W53/W56は一般社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。
詳細は、一般社団法人 電子情報技術産業協会のホームページをご参照ください。
　ホームページ　http://www.jeita.or.jp
IEEE802.11a/n (W52/W53)は電波法により屋外使用禁止です。

● **機器認定**
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明等を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機を分解/改造することは、電波法で禁止されています。

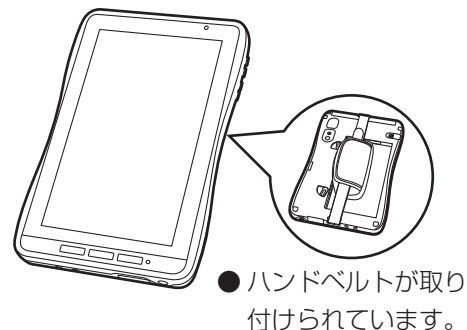
■お手入れについて

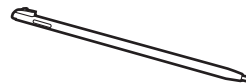
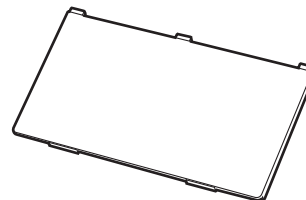
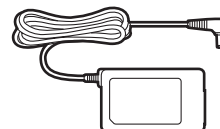
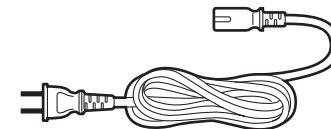
- 清掃の際には、乾いた布などを使用し、シンナー、ベンジン、ワックス、石けん、みがき粉、熱湯、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 液晶タッチパネル面は、ときどき清掃し、汚れたまま使用しないでください。

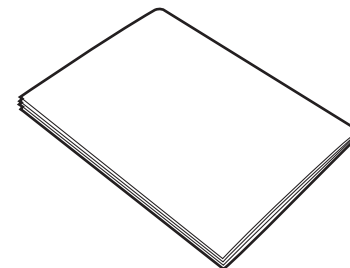
2. 機器・付属品の確認

以下の機器・付属品が揃っているか確認します。

■本体

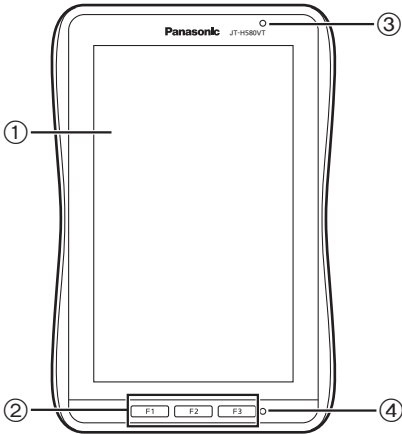
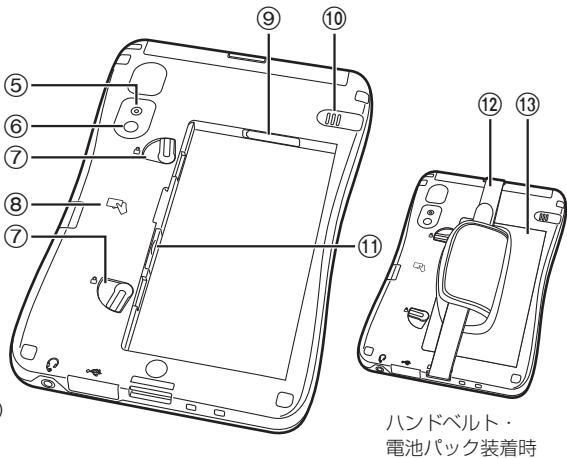
● ハンドベルトが取り付けられています。

■スタイラスペン

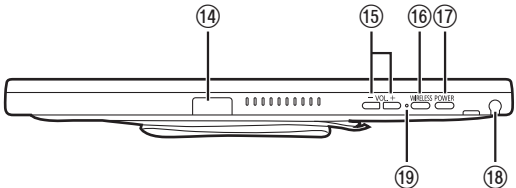
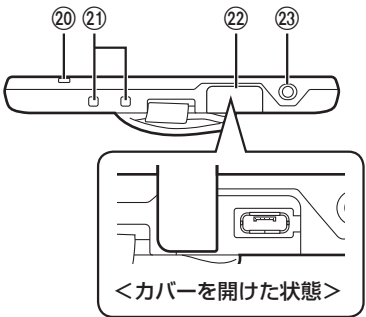
- スタイラスペンは、出荷時本体に収納されています。

■電池パック

■AC アダプター

■電源コード

■USB-DC変換ケーブル

■取扱説明書（本書）

■トレイ引き出し治具（JT-H580VTRGJのみ）

3. 各部の名称とはたらき

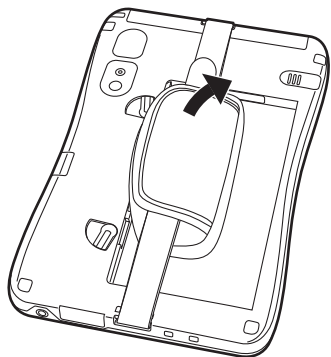
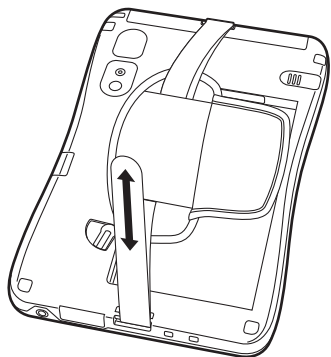
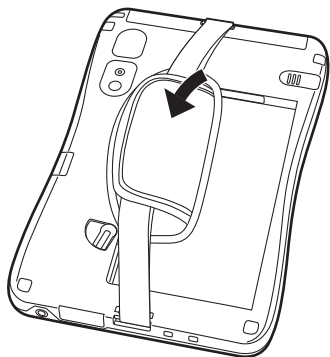
■正面　■底面

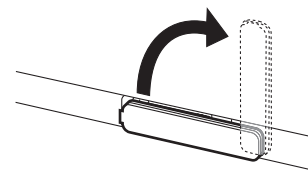
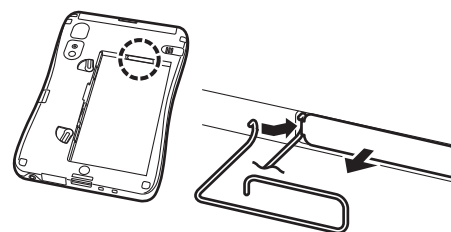
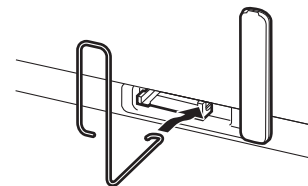
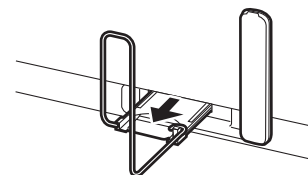
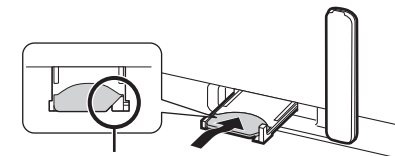
ハンドベルト・
電池パック装着時

番号	名称	はたらき
①	液晶タッチパネル	タッチパネル方式で操作します。
②	ファンクションキー	アプリケーションソフトで割り当てた機能を実行するときに使います。 初期状態では、「F1:BACK」、「F2:HOME」、「F3:MENU」です。
③	照度センサー	液晶の輝度を自動調整するときに使用します。 ● センサー部分をふさがないでください。
④	充電LED	充電中に点灯します。（22ページ参照）また、使用中に電池パック容量が15％以下になると赤色点滅します。
⑤	カメラ	撮影時に使用します。
⑥	LEDライト	撮影時に使用します。
⑦	電池パックロック	電池パックの脱着時に使用します。
⑧	非接触ICカード リーダーライター Type A、Type B、FeliCa	非接触型ICカードを読み書きします。
⑨	miniUIMカード挿入部	通信用に使用するminiUIMカードを挿入します。 （JT-H580VTRGJのみ）
⑩	スピーカー	操作音などを出します。
⑪	メモリーカード挿入部	メモリーカードを挿入します。
⑫	ハンドベルト	手を通して、使用します。
⑬	電池パック	—

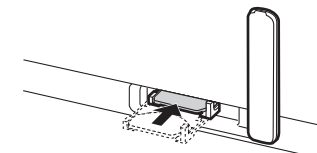
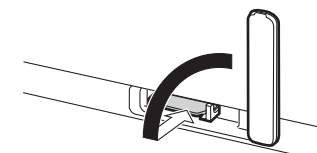
■右側面

■下側面

番号	名称	はたらき
⑭	IrDA	当社携帯プリンター（JT-H300PR、JT-H340PR）と赤外線で接続するときに使用します。（将来対応予定）
⑮	ボリュームキー	音量を調節します。
⑯	ワイヤレスキー	無線LAN接続をON/OFFします。
⑰	電源キー	電源をON/OFFします。
⑱	スタイラスペン	画面操作に使用します。
⑲	無線LAN LED	無線LANのON/OFFを表示します。 緑点灯 ：ON 消灯　 ：OFF
⑳	マイク	音声入力時に使用します。
㉑	充電端子	充電台による充電時に使用します。
㉒	USB端子	充電したりUSB機器と接続します。
㉓	ヘッドセットジャック	ヘッドセットを接続します。

4. はじめて使用する前に

4-1.ハンドベルトの長さ調整

1 パッドをめくります。

2 手の大きさに合わせて
ベルトの長さを調整します。

3 パッドを留めます。

4-2.miniUIMカード（契約が必要です）の取り付け / 取り外し（JT-H580VTRGJ）

1 トレイ引き出し治具を使って
カバーを開けます。
（ハンドベルトのイラストは省略しています。）

2 トレイ引き出し治具を使って
トレイを引き出します。

- 突起部にトレイ引き出し治具を引っかけます。

3 miniUIMカードをトレイに
挿入します。

- miniUIMカードの切り欠き部分を図の位置に合わせます。

4 奥までまっすぐ押し込みます。

5 カバーを閉じます。

- カバーは確実に閉じていることを確認してください。

●miniUIMカードの取り外し

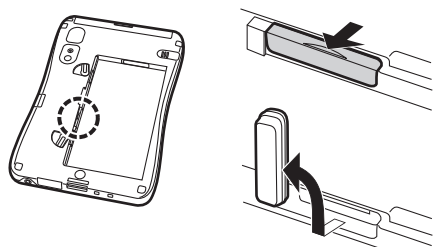
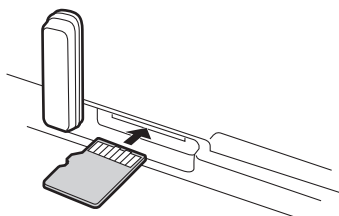
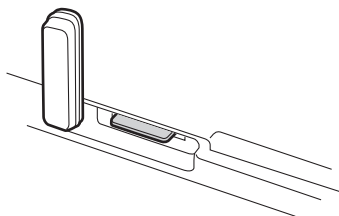
1 取り付けと同様の手順でトレイを引き出し、miniUIMカードを取り外します。

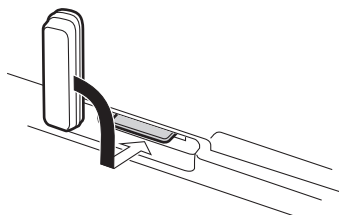
2 トレイを収納してカバーを
閉じます。

- カバーは確実に閉じていることを確認してください。

4-3.メモリーカード（別売品）の取り付け / 取り外し

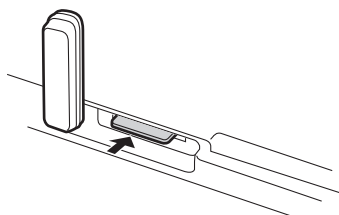
1 カバーを開けます。

（ハンドベルトのイラストは省略しています。）

2 メモリーカードの金属端子面を上にして挿入します。

3 奥までまっすぐ押し込みます。

- 「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

4 カバーを閉じます。

- カバーは確実に閉じていることを確認してください。

●メモリーカードの取り外し

1 カバーを開けます。

2 メモリーカードを軽く押し込みます。

- メモリーカードが少し押し出されます。

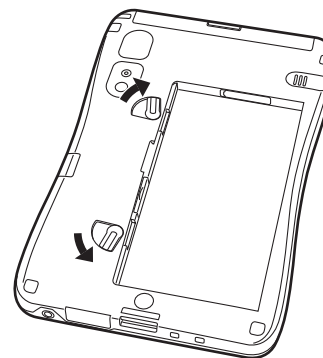
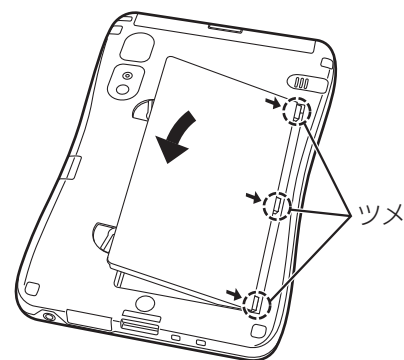
3 まっすぐ引き出します。

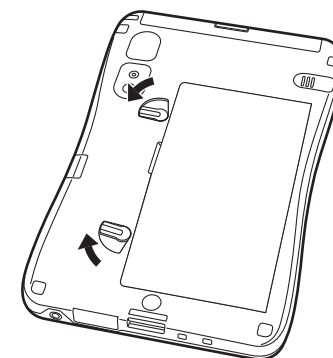
4 カバーを閉じます。

- カバーは確実に閉じていることを確認してください。

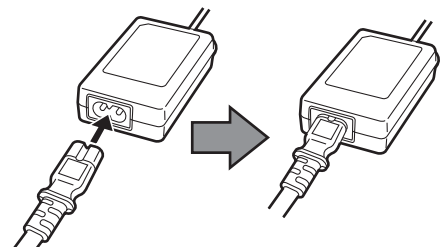
4-4.電池パックの取り付け

1 電池パックロックを解除します。

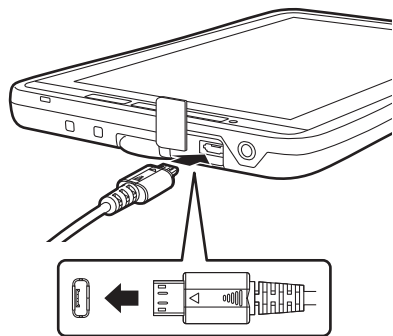
（ハンドベルトのイラストは省略しています。）

2 電池パックを取り付けます。

- 電池パックの品番などが印刷された面を下にして取り付けてください。
- 電池パックのツメを確実に合わせて取り付けてください。

3 電池パックロックをロックします。

5. 充電のしかた

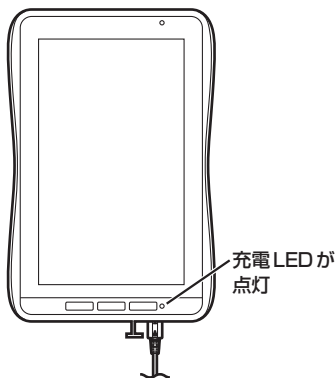
本機で電池パック（JT-H580BT-00）を充電する方法を説明します。

1 ACアダプターと電源コードを接続します。

- ACアダプター、電源コード、USB-DC変換ケーブルは、指定機器以外に使用しないでください。

2 USB-DC変換ケーブルとACアダプターを接続します。

3 本機のUSB端子カバーを開けて、USB-DC変換ケーブルの充電コネクタを確実に差し込みます。

- △マークを上にします。

4 電源コードを電源コンセントに接続します。

5 充電がはじまると充電LEDが点灯します。

■ 充電時の充電LED

電源ON時・スタンバイ時

緑色点灯	90 %～充電完了（消灯しません）
黄色点灯	15 %～ 90 %未満で充電中
赤色点灯	15 %未満で充電中

電源OFF時

赤色点灯	充電中
消灯	充電完了

- 電池が切れた状態で充電を開始すると、充電LEDがすぐに点灯しない場合があります。
  もし、充電LEDが長時間点灯しない場合は、電池パックの寿命です。使用している電池パックを新しいものに交換してください。

6. 取り扱い方法

6-1.電源のONとOFF

電源をONやOFFにする場合の操作方法を説明します。

■ 電源ON

本機が一瞬振動するまで電源キーを長押しします。

■ 電源OFF

1 各機能の操作をすべて終了し、「シャットダウンしますか？」が表示されるまで電源キーを長押しします。

2 「OK」をタップします。

- 本機は、電池の消耗を節約するために、一定時間使用しないとスタンバイ状態になります。この場合、入力中の文字などが消去される可能性があります。

6-2.スタンバイ

■ スタンバイ状態にする

電源ON状態で電源キーを押す。

- 画面が消え、スタンバイ状態になります。
- スタンバイ状態になると操作ができなくなります。

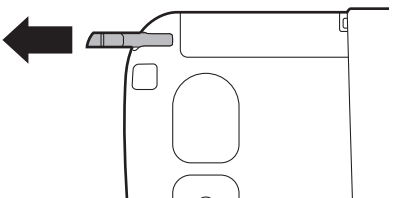
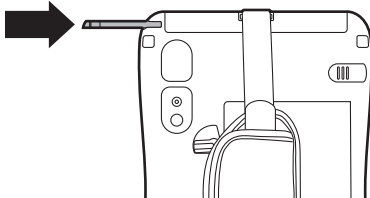
■ スタンバイ状態を解除する

スタンバイ状態で電源キーを押す。

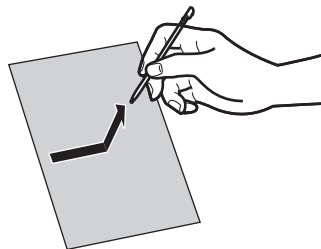
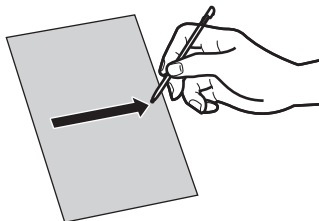
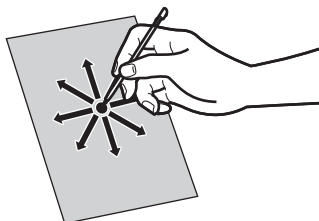
- 画面が表示され、操作できるようになります。

6-3.スタイラスペンの取り扱い

スタイラスペンを使うときは、必ず付属のスタイラスペンを使ってください。

■ スタイラスペンの取り外し

■ スタイラスペンの収納

6-4.画面の操作方法

画面を操作するときは軽い力でタッチします。
スタイラスペンの先は、強い力でタッチすると、軽く曲がるようになっています。
スタイラスペンの先が曲がらない程度の力でタッチしてください。

- **タップする**
  画面のアイコンなどにスタイラスペンで軽く触れて選択します。
- **ダブルタップする**
  ウェブページを拡大するときにすばやく２回続けてタップします。再度ダブルタップすると縮小します。
- **ロングタッチする**
  画面のアイコンなどをスタイラスペンで押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。
- **フリックする**
  スタイラスペンで左右に画面をはらい、前後の画面を表示させます。

- **ドラッグする**
  画面のアイコンなどに触れたままスタイラスペンを動かし、移動させます。

- **スクロールする**
  スタイラスペンで画面を上下左右方向になぞり、隠れている部分を表示させます。

- 指でもスタイラスペンと同じ操作ができます。
- 本機のタッチパネルはマルチタッチには対応しておりません。

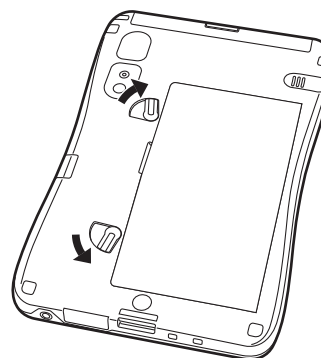
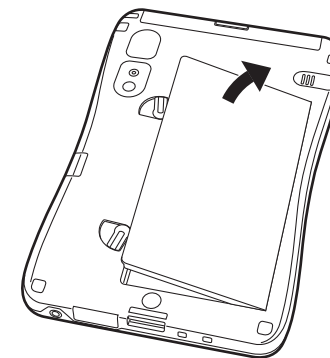
6-5.電池パックの交換方法

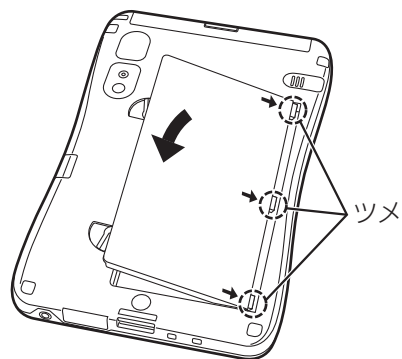
電池パックの交換方法を説明します。
電池パックの交換を行うときは、本機を机の上に置いた状態で行ってください。

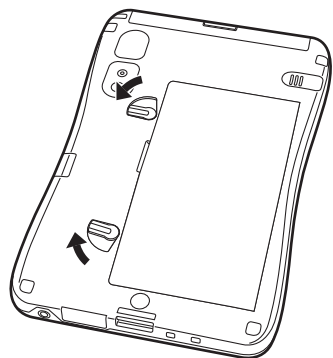
1 **各機能の操作をすべて終了し、「シャットダウンしますか？」が表示されるまで電源キーを長押しします。**

2 **「OK」をタップします。**

3 **本機を机の上に置いた状態で、底面にある電池パックロックを解除します。**

（ハンドベルトのイラストは省略しています。）

4 **電池パックを取り外します。**

- 電池パックを取り外す際には、机の上などで操作を行ってください。
- 電池パックは落とさないようにしてください。

5 交換用の電池パックを取り付けます。

- 電池パックの品番などが印刷された面を下にして取り付けてください。
- 電池パックのツメを確実に合わせて取り付けてください。

6 電池パックロックをロックします。

- 電源を入れたまま電池パックを取り外さないでください。書き込み中のファイルが破損する恐れがあります。
- 本機には誤操作を防ぐため、電源を入れたまま電池パックロックを解除すると警告表示と警告音でお知らせする機能があります。ヘッドホン等をご使用中には、警告音は本体とヘッドホンで同時に鳴ります。
  本機を一定時間使用しないとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態では、画面が暗くなり何も表示しませんが、本機は動作していてファイルを更新していることがあります。そのようなときには本機はスタンバイ状態であっても電池パックロックを解除すると警告音でお知らせします。

7. こんなときには

現　象	確認事項と対処方法
電源を入れても画面が表示されない	● 電池パックは充電されていますか？ →電池パックを充電してください。 ● スタンバイ状態のまま電池が切れていませんか？ →電池パックを充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ →電池パックを正しく取り付けてください。 ● 使用している電池パックを新しいものに交換してください。
充電中に充電LEDが点灯しない	● 電池パックの寿命です。 →使用している電池パックを新しいものに交換してください。
あまり使っていないのに充電が早く終わる、充電できない	
画面がフリーズして操作ができない	● 電源キーを10秒以上押し続けてください。 →強制的に電源をOFFします。再度電源をONにしてください。
電源残量があるはずなのに電源ONしない	● 電源キーを10秒以上押し続けてください。 →電源キーを離し、数秒おいてから再度電源をONにしてください。
「GPS機能を使用」にチェックを入れても位置座標が取得できない	● 見通しの良い屋外で使用していますか？ →GPS機能は衛星からの電波を受信して位置を測定しています。衛星からの電波が受信できる見通しの良い場所へ移動してください。また、衛星の電波を受信してから位置を測定するまでに5分～10分程度かかる場合がありますので、しばらく待ってから確認してみてください。

上記の対処方法を行っても現象が変わらない場合は、お客様ご相談センターへ連絡してください。

8. 仕様

電源
内蔵電池使用時：DC 3.7 V
付属ACアダプター使用時：DC 5 V、1.6 A
消費電力
充電時：約6.3 W
ACアダプター
入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、21 VA（100 V）、30 VA（240 V）
出力：DC 5 V、1.6 A
付属の電源コードは、AC100 V用ですので、必ずAC100 Vのコンセントに接続してください。

項　目	区　分	仕　様
プラットフォーム		Android™ 3.2
CPU		TI OMAP4430(Dual ARM Cortex-A9 MPCore)、1 GHz
メモリ	SDRAM	1 GB
	FlashROM	16 GB
ディスプレイ	方式	TFT カラー LCD
	画素数	1024 ×600 (WSVGA、16:10)
	サイズ	7 型
	色数	16,777,216 色 (24 bit)
	バックライト	白色LED
操作	スイッチ	電源、音量上げる、音量下げる ファンクション 1 ～ 3、無線LAN
	タッチパネル	抵抗膜方式タッチパネル（マルチタッチ非対応）
外部インターフェース	IrDA	規格：IrDA1.3 準拠 通信速度：115 kbps (SIR)、4 Mbps (FIR) 通信距離：1 cm ～ 20 cm
	USB	USB2.0（High/Full/Low Speed 対応、Host/Device ソフト切替） コネクター Micro-AB、Battery Charging 対応
	microSD microSDHC	カードスロット× 1 microSD メモリーカード (2 GB) microSDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB)
	接点充電端子	充電機能
通信インターフェース	公衆通信	JT-H580VTRGJのみ miniUIMカード対応 3Gパケット通信
	無線LAN	IEEE802.11b/g/n IEEE802.11a/n(W52/W53/W56)

項　目	区　分	仕　様
通信インターフェース	Bluetooth®	Bluetooth 2.1 + EDR class 2 A2DP/AVRCP/HID/HSP/OPP/PBAP/SPP （すべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。）
	ICカード	非接触ICカードリーダーライター Type A、Type B、FeliCa
オーディオ	スピーカー	内蔵（モノラル）、500 mW（8 Ω）
	マイク	内蔵（モノラル）
	ヘッドセットジャック	1 mW + 1 mW（32 Ω時）、Φ3.5 mm
センサー	加速度センサー	3軸
	地磁気センサー	3軸
	照度センサー	搭載
	GPS	搭載
カメラ	有効画素数	約510万画素
	最大記録画素数	約500万画素（2592 × 1944）
	オートフォーカス	あり
	ライト	あり（LED）
電池パック	種類	リチウムイオン
	定格	3.7 V、3,900 mAh
	充電時間	約4.5時間
耐落下強度		120 cm 弊社テスト基準に基づく、落下試験における実験値で、本製品の耐落下強度は、無破損・無故障を保証するものではありません。予めご了承ください。
防塵・防噴流性能		IP55準拠 本機をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防塵・防噴流性能は保証いたしません。予めご了承ください。
寸法（高さ × 幅 × 厚さ）		約197 mm × 約129 mm × 約14 mm （突起部除く）
質量		JT-H580VTRAJ：約400 g JT-H580VTRGJ：約415 g （電池パックを含む、ハンドベルト、オプションを除く）
使用可能温度・湿度		温度：0 ℃ ～ 40 ℃ 湿度：30 % RH ～ 80 % RH （ただし、結露しない状態であること）

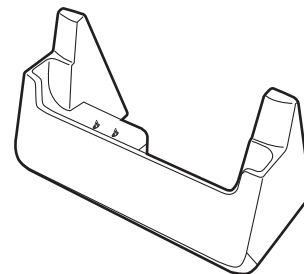
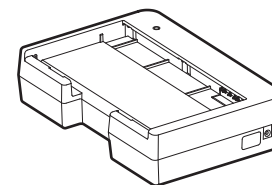
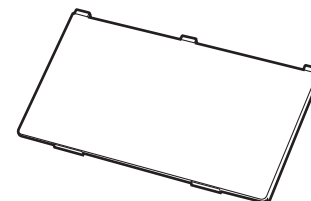
8. 仕様（つづき）

- Android™ はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- microSDHC ロゴはSD-3C、LLC の商標です。
- Bluetooth® はThe Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IME for Android を使用しています。
  iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2010 All Rights Reserved.
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触IC カードの技術方式です。
  FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。そのため、本製品をお使いになる前に、本製品に表示されるGPL やLGPL のライセンス情報、オープンソフトウェアについての情報をお読みください。
  本機のホーム画面から [アプリ] を押し、[設定] → [タブレット情報] → [法的情報] の手順にてご確認いただけます。
  GPL、LGPL の条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。
  製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック システムネットワークス株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。
  上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、以下のホームページにあるお問い合わせフォームへお問い合わせください。
  http://panasonic.biz/it/bizpad/
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS およびThomson からライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - (i) 画像情報をMPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、MPEG-4 ビデオ）記録すること。
  - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 ビデオ、または、MPEG LA からライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4 ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - (i) 画像情報をAVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
  - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVC ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- 本製品（付属品を含む）は、日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。
- お客様が本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

■別売品

- 充電台　JT-H580CU-00

- 電池パック充電器　JT-H580CG-0J

- 電池パック　JT-H580BT-00

■ご不明な点は、下記へご相談ください。
パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル® 0120-878-410（パナハ ヨイワ）

受付時間：9時～17時30分（土曜・日曜・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2011

F1211-2032
PGQX1110YB/J1